



新春対談 **R** 立命館大学 学長 よしだみきお 吉田美喜夫 × 甲賀市長 岩永裕貴

## 甲賀市の地域資源と大学連携の可能性

甲賀市と立命館大学は連携・協力に関する包括協定を昨年11月20日に締結しました。

これまでも、立命館大学とはさまざまな連携をしながら、まちづくりを進めてきましたが、今回の協定で、より一層連携が強化され、若者の力を活用した地域課題の解決や、大学の知的資源を使った地域の活性化に向けた取り組みが進むこととなります。

新年にあたり、甲賀市の恵まれた地域資源を生かした夢のあるまちづくりについて、吉田美喜夫立命館大学学長と岩永市長に対談いただきました。

### 協定の締結にあたり一言

**岩永市長** 市では、平成29年6月から第2次総合計画をスタートさせ、「オーラル甲賀で未来へつなぐチャレンジプロジェクト」を進めています。

地方創生で特色を生かしたまちづくりが求められる中、行政も時代の変化に対応し、スピード感をもって次へ進むという新しい文化を広げていきたいと考えています。

今回の協定の締結は、学生の皆さんと連携してチャレンジし、新しい文化を築いていく機会に恵まれたものと感謝しています。



謝しています。

**吉田学長** 立命館大学は、地域との連携を重視しています。

このきっかけになったのがびわこくさつキャンパス（BKC）の開設であり、行政と大学との新たな連携を示すモデルとして注目をいただきました。これまでも甲賀市とは、「あいこうか生涯力レッジ」の開催、地産地消推進協議会への参加、さらに製菓企業への学生インターンシップ、学生のフィールドワーク等の多面的な連携を進めてきましたが、今回の協定を契機とし、さらに経済、観光、文化振興、地域活性化、人材育成等で連携を深めたいと考えています。

### 連携の可能性は

**岩永市長** 甲賀市は、日本遺産に認定された忍者、信楽焼をはじめ、6次産業、薬業、製造業・工業、自然、歴史文化という多面的な性格をもっている地域です。可能性のある地域資源がある甲賀市ならではの特徴を学生の皆さんに知っていただき、研究や実証実験のフィールドとして活用いただきたいと思います。

**吉田学長** 新たに開設する「食マネジメント学部」は、食を総合的に捉え、生産から流通、販売、消費までのプロセス全体を教育研究の対象とします。この学部では、教室での学びにとどまらず、社会が抱える課題を現場で発見

し、解決していく実践力を身につけることをめざします。そのため、地域が教育研究の重要なフィールドとなります。このような食マネジメント学部の特性に照らせば、甲賀市は重要な連携先になると思います。

**岩永市長** ありがとうございます。甲賀市は、6次産業化認定事業者が多く、お米、お茶、甲賀野菜等の素材を活用していこうとする地域の知恵もあります。一方で、観光に来ていただいた方向に向けた「食」や「名産」を提供することが得意ではありませんので、そういった分野の支援・連携を深めていければと思います。

**吉田学長** 甲賀市は農業、工業、観光と、多様な地域資源をお持ちですね。観光資源としては、「忍者」という、大変有名な資源をお持ちです。

立命館大学は、さまざまな学問分野を有する総合大学です。「食」や「観光」をはじめ、豊かな地域資源を活用してどのような連携を展開できるか、考えていきたいと思います。それには、若者の感性が非常に大事になってくると考えられます。甲賀市と若者が接点を持ち、若者の発見が提起される場があってもいいと思います。

**岩永市長** 甲賀市には地域資源があり

過ぎて、本市の特色を見出していくのが難しいといううざいような悩みを抱えています。忍者をはじめ数多くある地域資源を、市の持つ多様なフィールドと若者の感性で磨きあげていただきたいと思います。

**吉田学長** 甲賀市は薬業も盛んですね。従来から連携している薬学部においても、緊密な関係を築けると考えています。健康を考えると、食の中にも薬効が含まれています。そのエッセンスが薬草であるとするれば、人々が身近な中で効きそうなものを発見し、生かしてきた原点を薬学部の学生は学ぶ必要があると思います。そういったことを学生が直接的に学べる場所を得られることは重要な意味があり、甲賀市は格好のフィールドになると考えています。

**岩永市長** 市内には薬業に関する文献や手作業で薬を調合していた当時の道具も残っており、くすりの歴史等を学ぶことができるくすり学習館があります。薬を原点から学んでいただけるフィールドがありますので学生の皆さんにもぜひ活用していただきたいです。

**吉田学長** 教室で行う教育研究にくわえ、「地域が学びのキャンパス」であってほしいと考えています。それには、地域や企業の皆さんと一緒に

になって教育研究を進めていくことが大事になります。それを進めるためには、さまざまな面での連携を深めていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願いします。

**岩永市長** 大学で培ってこられた学生の発想を取り入れ、展開いただくことで市民が挑戦したり、活気付けにつながるなどまち全体に波及することを期待しています。学生の自由な発想を支援していくことを軸にすえ、今回の協定を実のあるものにしてまいりますので、今後ともよろしく願います。

